	R工業高等	専門学校	開講年度	平成29年度 (2	2017年度)	授業科目	
		VI LL IT	ארד נו מות ב		2017 中汉)	JANTE	
科 目基礎情報 科目番号 73202					科目区分	専門 / 選択	
授業形態					単位の種別と単位		
開設学科						立の種別と単位数 学修単位: 1 Rg学年 3	
別設了! 開設期		後期	2702 = 311		週時間数	1	
教科書/教	5/1±±		回路ノートⅠ、Ⅱ	[、Ⅲ」小関修、光	本真一 著(電気	元書院)_x000D_ISBN:978-4-485-30230-9、	
			3-4-485-30231-	6、ISBN: 978-4-	485-30232-3		
担当教員		光本 真一					
到達目標		- 40 (> 18	だいったへ かし		ナ ル - L M 悪 - 目 - 1	5 /4 + + · · · · ·	z 1.1°
(イ)直列: (ウ)並列: (エ)イン (オ)イン (カ)各種(共振の定義を 共振の定義を ピーダンス、 のフェーザ のフェーザ	を理解し、直列: を理解し、並列: アドミタンス・ アドミタンス・ 加跡を利用して:	共振の条件を計算 共振の条件を計算 のフェーザ軌跡を 、電圧、電流およ 、回路計算ができ	できる。また、Qf できる。また、Qf できる。また、Qf なめることができ び複素電力のフェ る。また、電力最	直、共振時の電流、 直、共振時の電流、 、それを図として ーザ軌跡を、図形 大ほかの条件を求る	電圧の計算が 電圧の計算が 描くことができ を用いる方法に められる。	できる。 できる。
ルーブ		71 27 00 0 0	2/3 664 6466	/130 · C — LED (97 /3 · C	CC 00 12-1-1-1-00E	10000113737	1171240000000000000000000000000000000000
<u>ν)</u>	<u> </u>		最低限の到達し	 ベルの日安(傷)	最低限の到達し	ベルの日安(司)	最低限の到達レベルの目安(不可)
					最低限の到達レベルの目安(可) 最大電力を得るためのインピーダ		
			ンス整合、および 法により電力最 とができる。	び微分など他の方 大条件を求めるこ	ンス整合、および法により電力最かさる。	が微分など他の 大条件の立式カ	が ジス整合、および微分など他の方 法により電力最大条件の立式ができない。
			振の条件を計算す	を理解し、直列共 できる。また、Q値 、電圧の計算がで	直列共振の定義を理解し、直列共振について立式できる。また、Q値、共振時の電流、電圧の立式ができる。		O値 振について立式できる。また、O値
			振の条件を計算	を理解し、並列共 できる。また、Q値 、電圧の計算がで	並列共振の定義を理解し、並列共振について立式できる。また、Q値、共振時の電流、電圧の立式ができる。		Q値 振について立式できる。また、Q値
	到读日煙1	 頁目との関係] ⊂ ⊘ ∘		C'&V'0
教育方法			7				
既要		デー発動銃	左門 上帯上 る計算				
主意点	め方・方法	である4端 電気回路A、 _x000D_授	子回路の基本にご B、基礎交流回距 業後に必ず復習	いても学ぶ。	いることを前提に		図形を用いる方法を学ぶ。さらに、フ また、行列を用いる実用的な回路計算法 。関数電卓を毎授業持参すること。
注意点 選択必何	修の種別・	である4端 電気回路A、	子回路の基本にご B、基礎交流回距 業後に必ず復習	Oいても学ぶ。 	いることを前提に		
主意点 選択必何	修の種別・	である4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目	子回路の基本にご B、基礎交流回 受業後に必ず復習 1名	Oいても学ぶ。 	いることを前提に 好を深めること。	授業を進める	。関数電卓を毎授業持参すること。
主意点 選択必何	修の種別・	である4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目	子回路の基本についます。 B、基礎交流回転業後に必ず復習し 名 第内容	Oいても学ぶ。 	いることを前提に なを深めること。	授業を進める。	。関数電卓を毎授業持参すること。
主意点 選択必何	修の種別・	である4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目 週 授 1週 電	子回路の基本につ B、基礎交流回 登業後に必ず復習 社名 業内容 は力最大条件:イン る電力最大条件の	Oいても学ぶ。 路の単位を修得して し, 学習内容の理解 シピーダンス整合、 D求め方	いることを前提に 好を深めること。 および微分等に	授業を進める。 週ごとの到達 インピーダン 件の求め方が	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条 理解できる。
主意点 選択必何	修の種別・	である4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目 週 授 1週 電	子回路の基本につ B、基礎交流回 登業後に必ず復習 社名 業内容 は力最大条件:イン る電力最大条件の	のいても学ぶ。 路の単位を修得して し、学習内容の理解 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いることを前提に 好を深めること。 および微分等に	授業を進める。 週ごとの到達 インピーダン 件の求め方が	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条
注意点 選択必何	修の種別・	である4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目 週 授電よ 2週 よ	子回路の基本につ B、基礎交流回 選業後に必ず復習 名 本 大 大 大 大 大 大 大 大	8の単位を修得して 2000	いることを前提に ないること。 および微分等に および微分等に	授業を進める。 週ごとの到達 インピーダン 件の求め方が インピーダン 件の求め方が 直列共振の定	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条
主意点 選択必何	修の種別・	である 4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目 週 授電よ 2週 よ電よ 3週 交電	子回路の基本につ B、基礎交流回 選業後に必ず復習 名 対最大条件:イン る電力最大条件の は力最大条件の は力最大条件の は力最大条件の は力最大条件の は力最大条件の は力最大条件の は力最大条件の は対して、 にのことができます。 にのことができまする。 にのことができまする。 にのことができます。 にのことができます。 にのことができまする。 にのことができます。 にのことができますないできます。 にのことができますないできます。 にのことができますないできます。 にのことができますないできます。 にのことができますないできます。 にのことができますないできますないできます。 にのことができますないできますないできます。 にのことができますないできまないできまないできまないできまないできまないできまないできまないできま	BONTも学ぶ。 路の単位を修得して し、学習内容の理解 シピーダンス整合、 D求め方 シピーダンス整合、 D求め方 直列共振:直列共振 直列共振:直列共振	いることを前提になること。	授業を進める。 週ごとの到達 インピーダン 件の求め方が インピーダン 件の求め方が 直列共振の定 解できる。	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条 理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条 理解できる。
主意点 選択必何	修の種別・	である 4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目 週 1週 授電よ 2週 3週 電よ 交電 交電	子回路の基本につ B、基礎交流回 選業後に必ず復習 名 大条件:イン る電力最大条件:イン る電力最大条件の は力最大条件の に力最大条件の に対して、 流に、 にの にの にの にの にの にの にの にの にの にの	BONTでも学ぶ。 格の単位を修得して し、学習内容の理解 シピーダンス整合、 D求め方 シピーダンス整合、 D求め方 直列共振:直列共振 直列共振:直列共振 直列共振: 直列共振: 可列共振: 可列共振: 可列共振: 可列共振:	いることを前提に 好を深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、	授業を進める。 週ごとの到達 インピーダン 件の求め方が インピーダン 件の求め方が 直列共振の定 解できる。 直列共振の定 解できる。	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条 理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条 理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理
主意点 選択必(修の種別・	である 4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 交電	子回路の基本につ B、基礎交流回 選業後に必ず復習 名 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	BONTでも学ぶ。 格の単位を修得して とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 をしまる。 をしる。 をし。 をしる。	いることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、	週ごとの到達 インピーの対しの インポークの インポークの インポークの できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理
注意点 選択必何受業計[修の種別・	である 4端 電気回路A、 _x000D_授 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 電よ電よ 3週 全電 5週 5週 空電 7週 フ	子回路の基本についます。 B、基礎交流復習 基後に必ず復習 名 業人内容 大力最大力最大力量の電流 大力の表表力のでは、 大力のでは、	BONTCも学ぶ。 路の単位を修得して とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内本 をした。 を見が表し、 を見がまし、 を見がまし、 を見がまし、 を見がまし、 を見がまし、 を見がまし、 をした。 をしたた。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をした。 をし	いることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。 週ごとの到達 イ件のシボックの イ件のシボックの でがいる。 直解で対きました。 直解で対きました。 では、 がいがいがいでに では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理
注意点 選択必何受業計[修の種別・	である 4端 電気回路A、 2000D_授 ・旧カリ科目 週 1週 よ 2週 3週 電よ 3週 4週 5週 6週 7週 7週 8週 フフ	子回路の基本についます。 B、基礎交流復習 基後に必ず復習 名 業人内容 大力最大力最大力量の電流 大力の表表力のでは、 大力のでは、	BONTでも学ぶ。 路の単位を修得して とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 をした。 をした、 をした。 をした、 をした。	いることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。 週ごとの到達 イ件のシボンが 直解で対するがのがある。 直解で列で対けるがである。 がのがある。 で解で列できまる。 ががでがった。 で解でがった。 で解でがった。 で解でがった。 で解でがった。 ではいる。 では、 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 ではいる。 では、 ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 変と条件、電圧、電流最大との関係が理
注意点 選択必何受業計[修の種別・	である 4端 電気回路A、 ※000D_料目 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 7週 7週 8週 7週 9週 図	子回路の基本についます。 B、基礎交流回路 業後に必ず復習 名 名 大条件・条件の 力る電力最大条件を 力る電力最大条件の 力る電力の表別の 流圧、回転電の 流圧、回転電の では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 にに、 にに、 にに、 にに、 にに、 にに、 にに、 に	BONTCも学ぶ。 路の単位を修得して とし、学習内容の理解 シピーダンス整合、 シピーダンス整合、 シアスを シアる シアスを シアる シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを	いることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。 週ごとの到達 こことの到達 こことの対けるが でリッカーが でリッカーが で対するが でがいた。 で解で列で対きさせる。の。 で対きさせる。ののではまる。ののではまる。ののではまる。ののではまる。のではまる。のではまる。のでは、 では、ここでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 あたる。 本の定義と軌跡の考え方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。
注意点 選択必何受業計[修の種別・	である 4端 電気回路A、 ※000D_料目 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 7週 7週 8週 7週 9週 図	子回路の基本についます。 B、基礎交流回り 業後に必ず復習り 名 大泉大泉大条(中のでは、 大名電力最大泉大条(中のでは、 大名電力を、 大名では、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るでは、 大るな 大るな 大るな 大るな 大るな 大るな 大るな 大るな	BONTCも学ぶ。 路の単位を修得して とし、学習内容の理解 シピーダンス整合、 シピーダンス整合、 シアスを シアる シアスを シアる シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを	いることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。 週ごとの到達 との到達 との引が対かがして、 でリッカーがのがですがいがです。 で別ですまきまる。の。のではまる。 ではまる。ののではまる。 ではまる。でではまる。でではまる。 ではまる。では、 では、このでは、このでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 。 ないます。 この定義と軌跡の考え方を理解できる。 この定義と軌跡の考え方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。
主意点 選択必何受業計[修の種別・	である4端 電気回路A、 2000D_授 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 電よ 電よ 電よ 電よ 電よ 電よ で電 交電 交電 交電 交電 交電 フフ 図 3週 図 10週 図 200	子回路の基本についます。 B、基礎交ず復習は名 業後に必ずででである。 大人の電子のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	BONTCも学ぶ。 路の単位を修得して とし、学習内容の理解 シピーダンス整合、 シピーダンス整合、 シアスを シアる シアスを シアる シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを シアスを	および微分等におよび微分等にの定義と条件、の定義と条件、の定義と条件、の定義と条件、	授業を進める。	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 。 ないます。 この定義と軌跡の考え方を理解できる。 コーザ軌跡の求め方を理解できる。
主意点 選択必何受業計[修の種別・	である 4端 電気回路A、接 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 9週 10週 11週 フ	子回路の基本についます。 B、基礎交ず復習 名 業人内容 大人最大人最大人。 大人力のでは、一位の 力のでは、一位の 力のでは、一位の 力のでは、一位の 大人のでは、一位の 大人のでは、一位の 大人のでは、一位の 大人のでは、一位の 大人のでは、一位の 大人のでは、一位の 大人のでは、一位の では、一の では、一の では、一の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	BONTも学ぶ。 路の単位を修得して とし、学習内容の理解 とピーダンス整合、 の求め方 しアック方 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 を見り、 をしずりをしずり、 をしずりり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずりり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずりり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしずり、 をしがり、 をしがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがしがりがりがしがりがりがりがりがり	こいることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 表と条件、電圧、電流最大との関係が理 あ定義と軌跡の考え方を理解できる。 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。
選択必付受業計	修の種別・	である4端 電気回路A、接 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 7 112週 所	子回路の基本についます。 B、基礎交ず復習は名 業後に必ずででである。 大人の電子のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	PONTも学ぶ。 格の単位を修得して 格の単位を修得して とし、学習内容の理解 とピーダンス整合、 の求め方 のがあり、 直列共振・直列共振 直列共振・並列共振 が関係、 立列共振・並列共振 が関係、 立列共振・並列共振 が関係、 立列共振・並列共振 で関係、 をと軌跡の考え方 でし、 養と軌跡の考え方 ず動跡の求め方 がするがある。 をしまいので表えたが、 がある。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	にいることを前提に ないること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。 一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 表と条件、電圧、電流最大との関係が理 立定義と軌跡の考え方を理解できる。 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 の回路解析(電力最大など)への応用が 、Z行列の定義を理解できる。
注意点	修の種別・ 画 3rdQ	である4端 電気回路A、接 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 713週 所 13週 所 13週 所 13週 所 13週 所 14週 m 14週 m 14週 m 14週 m 14週 m 14週 m 14	子回路の基本についます。 一番の基本についます。 一番の表生に必ずで復習である。 一番の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の	PONTも学ぶ。 格の単位を修得して 格の単位を修得して とし、学習内容の理解 とピーダンス整合、 の求め方 のがあり、 直列共振・直列共振 直列共振・並列共振 が関係、 立列共振・並列共振 が関係、 立列共振・並列共振 が関係、 立列共振・並列共振 で関係、 をと軌跡の考え方 でし、 養と軌跡の考え方 ず動跡の求め方 がするがある。 をしまいので表えたが、 がある。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	こいることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。 一個 では、一個	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 あ定義と軌跡の考え方を理解できる。 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 スプ行列の定義を理解できる。 、ス行列の定義を理解できる。
選択必付受業計	修の種別・ 画 3rdQ	である4端 電気回路A、接 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 713週 FF 113週 FF 113週 FF 113週 FF 113週 FF 114週 75人 FF 115円 115円 115円 115円 115円 115円 115円 1	子回路の基本についます。 一番の表生に、 一番の表生に、 一番の表生に、 一番の表生の表生に、 一番の表生の表生の表生の表生で、 一番の表生の表生のでは、 一番ののでは、 一番のでは、 一をできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	PONTでも学ぶ。 格の単位を修得して 格の単位を修得の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 をしての対策・直列共振 を見り関係 を見り関係 を見り関係 をしかの対域に、並列共振 でり関係、 をしまいの考え方 でし、数の考え方 が動跡のずめ方 が動跡のずめ方 をしまいので表 が可して、 をしまいので表 が可して、 をしまいので表 をしまいので表 をしまいので表 をしまいので表 をしまいので表 をしまいので表 をしまいる。	こいることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、	授業を進める。 週イ件イ件直解直解並解 フフ図図フ理 7千千万万万元。 では、大き、共き、共き、共き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 表と条件、電圧、電流最大との関係が理 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 ローザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーガーの定義を理解できる。 エーガーのに関係が、こだ列の定義を理解できる。 ころカインピーダンスと出力インピーダンる。
選択必付受業計	修の種別・ 画 3rdQ	である4端 電気回路A、接 ・旧カリ科目 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 713週 FF 113週 FF 113週 FF 113週 FF 113週 FF 114週 75人 FF 115円 115円 115円 115円 115円 115円 115円 1	子回路の基本についます。 一番の表生にある。 一番の表生にある。 一番の表生にある。 一番の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の表生の	PONTでも学ぶ。 格の単位を修得して とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内容の理解 とし、学習内で表 をしての対し、 をしての対し、 をしたの対し、 をしたの対し、 をしたのでである。 をしたのでである。 をしたのでである。 をしたのでである。 をしたのでである。 をしたのでである。 をしたのでである。 をしたのでである。 をしたのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのでである。 でのである。 でのでである。 でのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	こいることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、	授業 選イ件イ件 直解 直解 並解 フフ図 図フ理 F行 F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F A	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 表と条件、電圧、電流最大との関係が理 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 ローザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーガーの定義を理解できる。 エーガーのに関係が、こだ列の定義を理解できる。 ころカインピーダンスと出力インピーダンる。
主意点 選択必 受業計[修の種別・ 画 3rdQ 4thQ	である4端 電気000D_料 間間 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 所 13週 所 14週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 16週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	子回路のの基本についます。 一番を選集名 一番を選集名 一番を選集名 一番を表して、 一番を表して、 一番を表して、 一番を表して、 一番である。 一本である。 一本でなる。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。 一本である。	のいても学ぶ。 路の単位を修得の理解 というでは、学習内容の理解 というでは、大学習のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	こいることを前提に なた深めること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、	授業 選イ件イ件 直解 直解 並解 フフ図 図フ理 F行 F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F A	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 表と条件、電圧、電流最大との関係が理 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 ローザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーガーの定義を理解できる。 エーガーのに関係が、こだ列の定義を理解できる。 ころカインピーダンスと出力インピーダンる。
主意点 選択必 受業計[修の種別・ 画 3rdQ 4thQ	である4端 電気000D_料 ・旧カリ科 ・ 旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 113週 113週 113週 114週 115週 115週 115週 115週 115週 115週 115	子回路のの基本について、 B、後に、 学生のでは、 大力をできます。 大力をできまする。 大力をできます。 大力をできまする。 大力をできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	BONTE も学ぶ。 路の単位を修得して というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 をいうでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でい	にいることを前提に などのでででであること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 のに義と条件、 のに表と条件、 のに表と条件、	授業 選イ件イ件 直解 直解 並解 フフ図 図フ理 F行 F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F A	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 数と条件、電圧、電流最大との関係が理 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡のよめ方を理解できる。 エーザ軌跡のよめ方を理解できる。 エーザ軌跡のよめ方を理解できる。 エーガーンピーダンスと出力インピーダンる。 こ入カインピーダンスと出力インピーダンる。
注意点 選択必付受業計「 受業計」	修の種別・ 画 3rdQ 4thQ	である4端 電気000D_料 間間 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 所 13週 所 14週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 16週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	子回路の基本についます。 B、後に 学生の 大力 大力 大力 大力 大力 大力 大元 大力 大元	のいても学ぶ。 路の単位を修得の理解 というでは、学習内容の理解 というでは、大学習のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	にいることを前提に などのでででであること。 および微分等に および微分等に の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 の定義と条件、 のに義と条件、 のに表と条件、 のに表と条件、	授業 選イ件イ件 直解 直解 並解 フフ図 図フ理 F行 F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F F A Z F A	。関数電卓を毎授業持参すること。 目標 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 ス整合、および微分等による電力最大条理解できる。 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 義と条件、電圧、電流最大との関係が理 表と条件、電圧、電流最大との関係が理 の定義と軌跡の考え方を理解できる。 ローザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーザ軌跡の求め方を理解できる。 エーガれびピーダンスと出力インピーダンる。

総合評価割合	50	10	40	100
専門的能力	50	10	40	100